

2021年5月31日(月)

旧東海道ブラ歩き(3) 鶴見—神奈川

本年1月21日(木)に日本橋から青物横丁まで、同月28日と2月1日にかけて青物横丁から鶴見まで家内と歩いたことは既に記したところである。その直後の2月9日からコロナ禍の下で二人とも肺炎にかかり、その後の体調回復が遅れていたが、本日思い切って二人で鶴見から神奈川宿まで歩いてみた。歩行歩数24500歩、最近糖尿病の薬のせいで足がむくんでやや疲れやすくなっており、家内も2週間ほど前にめまいを起こしたりして一寸心配だったが何とか神奈川宿まで完歩し、その後電車で横浜元町まで出て昔なじみの喜久屋でコーヒーとお菓子で一休みし、更に山下公園を散策し、Hotel New Grandに寄って今晚のカレーを買い、そこからバスと電車を乗り継いで帰宅した。出発は10時、帰宅は18時である。

朝、家から大森駅まで歩き京浜東北線で鶴見下車、2月に到達した地点から歩き始める。今日は神奈川宿だ。暫く歩くと魚河岸という場所があり、道の両側に何件も魚屋がある。皆新鮮な魚を売っている。基本的に東海道は海に沿っているが、この辺りは昔の漁師町だったようである。40分ほどで160年前(1862年)の生麦事件殺傷現場に到着(写真1)、これが翌年の薩英戦争の原因となった。この辺りの道路には写真のような標識が何か所もある(写真2)。更に歩を進めると左側に日本で最初にビールを製造したキリンビールの工場がある。普段ならばここでビール製造工程の見学と無料ビール、更に付属のレストランでの食事が楽しめるはずだが、今日は定休の月曜日、しかもコロナ期間中は見学もレストランも休みというわけで残念ながらここはパス。工場を過ぎたところに生麦事件の碑がある。事件ではRichardsonという外交官が死亡したが、この場所はこの男が息を引き取った場所らしい。この辺りでお腹がすいてきたので蕎麦屋に入って昼食、なかなかうまい。

腹ごしらえをして幕末にオランダ領事館が置かれていた長延寺を探すなかなか見付からない。漸く探し当てたが、この寺は戦後の第1京浜国道の拡張工事で横浜の緑区に引っ越してしまっており、現在は公園になっている。これでは近所の人でも知らないはずだ。次の目当てはヘボン博士が滞在した成仏寺、ここは幸いそのまま残されている。境内に入り一回り、トイレもあった。ここでひとしきり明治時代の英語教育に思いを馳せた後、最大の狙いの本覚寺を目指す。ここまで旧東海道は東海道線、京浜東北線、京浜急行線と並行しているが、本覚寺は横浜を目指すこれらの電車と旧東海道の分岐点にある。場所的には横浜駅まで1kmもない京急神奈川駅の目の前だ。

本覚寺は言わずと知れた(といっても小生今日まで知らなかったが)アメリカの領事館であった場所である(写真3、4)。境内の案内板を見ると領事のハリスは神奈川の港を一望でき

るこの高台が気に入って自らここを領事館としたようである。なお、開港を迫る欧米列強は
いずれも神奈川宿辺りに領事館を開いていたらしく、良泉寺は領事館として申し入れがあ
ったが、住職が自ら屋根を壊し、工事中としてこれを断ったそうである。この寺にも入っ
てみた。

さて、本覚寺は流石に立派な堂々たる寺で今でも栄えているようであった。なお、この山門
は神奈川宿で今に残る江戸時代の唯一の建造物だそうだ。ここを辞去したのが 15 時半頃、
本日の街道歩きは病後の Test Run を兼ねたものなのでこれで中止した。

しかし折角ここまで来たので元町に行こうというので京急神奈川駅から電車で一駅の横浜
まで京急線に乗り、横浜で京浜東北線に乗り換えて石川町下車、学校帰りの女学生がたくさ
んいる。雙葉ではないので或いはフェリスの生徒かも知れない。そこからは勝手知ったる道
なので元町をぶらぶらして喜久屋で一休みし、冒頭の通り山下公園を経て帰宅した。何とか
無事帰宅でほっとしている。次回は電車で本覚寺まで行き、保土ヶ谷、戸塚辺りまで、もし
可能なら藤沢あたりまでを目指してみようと思っている。猛暑になる前に何とかここまで
行きたいと考えているところである。



写真 1 生麦事件発生現場



写真 2 至る所にある標識



写真 3 本覚寺（開国前アメリカ領事駐在場所）



写真 4 同左